

## 事業評価書（事前）

事務事業名		広域災害・救急医療情報システム経費
事務事業の概要	(1)目的	災害時における初期救急医療体制等の充実強化として、各種情報を速やかに収集・分析し、的確な意志決定と迅速な対応ができるネットワークを構築する。
	(2)内容	現在、運用されているシステムを携帯電話からも情報交換できることとする等更に発展・充実させた全国的なネットワークの構築を図るもの。
	(3)達成目標	<p style="text-align: center;">！予算額（案）！</p> <p style="text-align: right;">68百万円</p> 災害時に、当システムが信頼性・安全性において安定的に運用できる仕組みを平成14年度に構築することにより、システムの機能強化を図る。
評価	(1)必要性	<p>[国民や社会のニーズに照らした妥当性]</p> 災害時の初期救急医療を中心とした救援活動を迅速かつ効率的に行うためには、各種情報を速やかに収集すること、収集・分析した情報を関係者（国、都道府県、医療施設等）に提供し、情報を共有すること、被災地からの要請及び全国からの支援可能状況を速やかに把握すること等が肝要であり、そのためには、当システムの充実強化を行う必要がある。
	(2)有効性	<p>[公益性、緊要性の有無]</p> 当システムの充実強化を図ることは、災害時において国民の生命の安全に重要な役割を果たすとともに、通常時においても救急医療に関する情報を提供する等国民が安心して生活するために必要であるなど、公益性を有していることから速やかに実施すべきものである。
	(3)効率性	<p>[今後見込まれる効果]</p> 信頼性・安全性において安定的に運用できる仕組みを構築することによりシステムの機能強化を図ることは、初期救急医療を迅速かつ効率的に行うことができるとともに、平常時から救急医療関係者への知識の普及を促進することができるなど、災害時の救急医療体制を多方面から総合的に充実させることができると考えられる。
	(4)その他 (公平性・優先性など)	<p>[手段の適正性]</p> この経費は、多発する災害に対する初期救急医療体制等を支えるシステムとして、信頼性・安全性において安定的に運用できるよう機能強化を図るものであり、既存のシステムを活用することにより、効率的に発展・改善を行うことができる。
関連事務事業	災害拠点病院の整備事業（施設・設備）	
特記事項	頻繁に発生する我が国の災害事情を考慮すると、当該システムについては継続的に運用するとともに、時代にあったものに随時更新していく必要がある。	
主管課及び関係課	(主管課)医政局指導課	